

令和6年1月9日

3 学期始業式式辞

みなさんおはようございます。まずは、石川県能登地方での地震発生に伴い、被災された方々、関係者の方々に心よりお見舞申し上げます。

さて、「短い冬休みでしたが有意義にすごせましたか。特にお正月はいかがでしたか」お正月の意義は新年を迎えた機会に日常生活にけじめをつけその年の志をたてる。また、意欲を充実させるところにあります。みなさんも期を逸することなく個々に志をたて、達成にむけより計画的にチャレンジして下さい。同時に人生を豊かに生き抜くため(自信)(勇気)(継続)(好奇心)(努力)(困難に立ち向かう根気)が重要であることを再確認してください。私の志は本校関係者すべてが心身ともに健康な状態が維持できる【ウエル・ビーイング】な学校づくりです。その実現に向け、根気強く取り組みたいと思っています。

それでは、本日、始まりの時に非認知能力について少し触れておきます。一度みなさんにもお伝えしたように記憶していますが再度お伝えします。非認知能力とは、IQなどで測れない内面の力を言います。その中の、レジリエンスに着目したいと思います。(根気強さ)とも関連します。私はまだまだ若輩ですので、常にこの力を高めたいと思っています。また、みなさんにもぜひ身に付けてもらいたい力の一つです。どのような力かと言いますと。外圧を表面的に抵抗するのではなく、内なる力で跳ね返す力、逆境を糧にして飛躍のチャンスに変えていく力、(折れない心)・(しなやかな強さ)と解説しておきましょう。

このレジリエンスを高めるため5つのポイントを紹介します。①進化を求めて挑戦し自尊感情を高める②感情や欲望をコントロールできる自制心を高める③自分を客観的に見る力、自己認識力を高める④物事を大局的に捉えることができる精神的敏捷性を高める⑤信頼できる仲間との人間関係の構築などです。レジリエンスは、人間力のあるたくましい社会人への成長のため大切な力の一つです。記憶に留めておいてください。

終わりになりますが、新年(きのえ たつ)が本校関係者すべてのみなさんの志が達成でき更なる飛躍の年となることを祈念してはじまりの式辞とします。

学校長 藤田繁也